

# まずは、校舎外から！



▲ なにができるか楽しみな、温室



▲ 多種、多様な農機具も、基本の安全操作から学びます。



◀ ダチヨウの卵を再利用したエコアート



◀ 桂川町のみなさん。これから、私たちもお世話になります。

校舎東側から南東部にかけては、ダチヨウ、ヤギ、ポニー、ウシ、ブタ、ニワトリやウサギ等の飼育場をはじめ、温室、畑、果樹園や農機具倉庫等、農業に関する施設が広がっています。

動物たちも、皆、無事引越しがすんでホッとしているようです。

ここは、主に地球環境システム科の生徒が利用します。

農業の基本となる土作りから始まり、動物を飼育し、農作物を育てそして収穫。収穫した卵や農作物などを食品に加工し、その過程で出る堆肥やゴミを利用して、再び土を作る、いわゆる循環型農業を学んでいます。

また、食の安全、地球環境の保全といった分野まで幅広く、情報技術を活用して学べる施設が充実しています。



▲ 福岡県立嘉穂総合高等学校  
生徒会長 日下部 欣宣さん  
3年生

初めまして。私たち嘉穂総合高校生徒一同は、四月七日からこの新校舎での生活をスタートさせました。一番驚いたのは、校舎の大きさとグラウンドの広さです。最初に見た時には、圧倒されてしまいました。他の設備も充実しており、このような学校で学生生活がおくれることを、幸せに思います。

今年卒業された一期生の先輩方（飯塚市旧校舎にて卒業）は、進路決定率が百パーセントと素晴らしい結果を出されました。先輩方に続くように、この桂川の地で、日々の学習に一生懸命取り組みたいと思います。

生徒一同、「桂川に総合あり」と町民の方々から誇りとされるように頑張っていきますので、応援よろしくお願ひします。